



# 公立高入試 後期試験がんばれ!

〜後期入試に挑んだ先輩たちからのエール〜

★K・Mさん 新松戸教室 中三 Sコース在籍  
(進学先) 県立小金高校

私は前期選抜、第一志望の小金高校に落ちました。自己採点の日、本当に悔しくて全然点が取れない自分が嫌で涙山泣きました。だから私は、後期にかけようと思ひ、入試の次の日から勉強し、最後の一週間は死ぬ気でやりました。自分でも、自信を持って頑張ったと言える一週間でした。後期の自己採点では前期よりも五十点くらい上がりました。私の合格は私だけの力では不可能だったと思います。前期落ちたとき初めて勉強しなさいと言って応援してくれた家族、沢山相談に乗ってくれたり指導していただいたりした創学舎の先生方、一緒に高め合える友達、色々な人のおかげです。みなさんも全力で向上心を忘れず、まわりへの感謝を忘れずにマイナスイメージを避けて頑張ってください！応援しています！

★I・K君 柏教室 中三 A1コース在籍  
(進学先) 県立柏高校

私は中二の冬にこの創学舎に入りました。入った頃の自分の学力は学年でも半分くらいの位置

置でした。しかし、創学舎で勉強をし始めたならみるみるうちに学力は伸びていきました。でも時々落ち込んでしまうこともありました。その度に先生方は相談に乗ってください、どんな壁でも乗り越えられました。自分が一番辛かったのは、前期が終わってから後期の入試までの間でした。自分の学級では後期受験者が六人しかいなくて、毎日昼休みや朝学習では耳せんをしていました。そして学校が終わるとすぐ創学舎に行き勉強をしました。私は先生方への相談や自分の努力があったからこそ、合格できたのだと思いました。



★S・T君 江戸川台教室 中三 A1コース在籍  
(進学先) 県立小金高校

僕がこの塾に入ったのは、中学三年生の春でした。親に受験が近くなったからと言われて通いました。僕は当初、塾は面倒で、辛いところというイメージしかありませんでした。でも、先生達の授業がおもしろく、それまでのイメージが逆転し、塾に行くのが面倒ではなく楽しみました。受験も近づくとつれて、難しい応用問題などが出てきて、つまずくこともありました。でも、その度に先生が丁寧に教えてくれました。そのおかげで、ミスした原因やどこが苦手なのかということが分かるようになりました。



しかし、入試当日は緊張していたせいか、ケアレミスが十個くらいあり、前期入試は不合格でした。だから、先生に言われたとおり、自分のミスの癖を後期に向けて探しました。する

と、自然とミスが減り、後期ではミスを減らすことができました。今では、この塾に入ってから良かったと思っています。今まで本当にありがとうございました。

★N・Kさん 新柏教室 中二 Sコース在籍  
(進学先) 県立柏南高校

私は柏南高校を第一志望として一年間頑張ってきました。しかし、前期では残念ながら落ちてしまいました。精神的にとってもショックを受けて、合格発表当日はずっと泣いていました。後期受験まで努力し続ける自信がなく、私立に入学しようか悩んでいたとき、先生方と面談しました。私を励ましてくれる先生方にすごく救われ、後期も柏南を受けると決めました。後期までの一週間で全力で頑張ったのは、やはり先生方の励ましがあつたからだと思っています。前期で合格できなかったことを悔やむより、後期に向けて勉強を始めることの方が大切です。創学舎の先生方と目標に向けて努力した一週間はとても充実したものでした。落ち込んだ私を励まし、合格させてくれた先生方には本当に感謝しています。今までありがとうございました。



★K・Y君 我孫子教室 中三 S2コース在籍  
(進学先) 県立小金高校

私は創学舎に入った当初、偏差値が55で、進学先である小金高校の合格可能性は20%以下でした。しかし創学舎の分かりやすく、丁寧な

授業を受けて次第に偏差値が上がっていきまし。また、充実した副教材と宿題によってテスト問題の解き方が分かってきました。そうした創学舎のサポートを受け、私の偏差値は上がり、小金高校の合格判定はBになりました。残念ながら前期は落ちてしまい、私は後期で失敗したらどうしようという不安に押しつぶされそうになってしまいました。このままではマズイ、そう思ったときに、創学舎の先生方は「合格を勝ちとってこい」と言ってくれ、私の不安を吹き飛ばしてくれました。こうして先生方の支えにより、私は小金高校に後期で受かることができました。創学舎には本当に感謝していると同時に、入って良かったと心から思っています。

★A・T君 新松戸教室 中三 Sコース在籍  
(進学先) 県立東葛飾高校

先生たちはみんな優しく、すごくおもしろい。僕は創学舎 新松戸教室にいたからこそここまでくることができたと思う！それともう一つ僕が合格できた理由がある。それは、誰よりも努力したからだ。僕は特別な天才ではなかったのですが、努力が報われないときもあった。しかし、諦めなかつた。悔しいときは泣きまくって、嬉しいときは跳びはねて喜んで、そして、志望校に合格した。

これから受験を迎えるみんなに一言。受験を乗り越えるために、みんな、気合を入れていけよ！自分がNo.1だと思つて誰よりも努力しろ！辛くてもきつくても絶対に諦めるな！

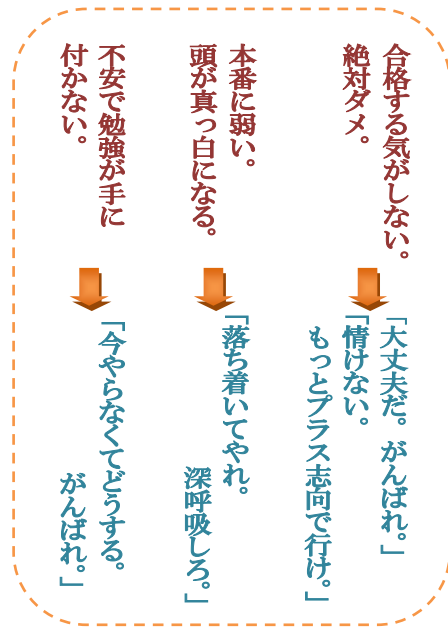


# 行き詰まったら読め!

## (受験生に残された日々) 過ごし方

●受験シーズンも半ばを過ぎ、公立高校の後期入試と私立大学の一部及び国公立大学入試を残すのみ。中学三年生は疲れているようだ。高校三年生はもつと疲れている。しかし、ここで停滞してはいけない。最後まで目標に向かって努力するのだ。

●苦しい時、うまくいかない時、周りの人はキミに様々なアドバイスをしてくれる。思い余ってキミのほうから相談に行くかもしれない。でもなかなかうまくいかない。みんなキミのことを心配しているのだが、キミが求めている答えは返ってこない。キミもズレているし、周りもズレているのだ。少し具体例をあげよう。



●こんな会話が日本中で繰り返される。かわいそう。本当にかわいそう。キミもキミの周りの人も。で、私は自分の子供達に適切に対応したかといえ、やはりズレていたと思う。自分の子供には、ゆとりがもてなくて、思うこ

とを一直線にぶつけていたような気がする。親とはそういうものだ。  
●さて、受験生を教えている立場として、私も当然キミ達のことを心配しているし、祈っている。少しでもいい状態で受験に臨んでほしいと切に思う。そこで、微力ながらアドバイス。因みに私は、プラス志向という言葉が嫌いだし、受験でも散々苦しんだので、少しはキミの心に近づけるかもしれない。  
●まず、次の各項目を読んで該当するものについてほしい。グループが三つある。

<b>A</b>	<input type="checkbox"/> 間に合わない。 <input type="checkbox"/> 自分だけが伸びていない気がする。 <input type="checkbox"/> 不合格になったらどうしよう。 <input type="checkbox"/> 問題が変わったらどうしよう。 <input type="checkbox"/> 他の人は伸びている気がする。 <input type="checkbox"/> 本番で失敗しそう。
<b>B</b>	<input type="checkbox"/> 自信が持てない。 <input type="checkbox"/> 集中力が続かない。 <input type="checkbox"/> 焦りがあるのに行動できない。 <input type="checkbox"/> 自分に価値がない。 <input type="checkbox"/> 不安で眠れない。 <input type="checkbox"/> 腹の調子がずつと悪い。
<b>C</b>	<input type="checkbox"/> 親兄弟が優秀。自分だけがバカ。 <input type="checkbox"/> もつとやっておけばよかった。 <input type="checkbox"/> 時間に縛られる。 <input type="checkbox"/> 勉強が嫌い。 <input type="checkbox"/> 時間が足りない。 <input type="checkbox"/> 親が嫌い。孤独。

●これは、過去の高三生と一緒に作った「心の地図」と呼ぶリストの一部である。40項目あつ

て、30以上にレが入った人が何人もいた。みんな苦しいのである。そして、ここからが大事なのだが、この18項目で自分に該当することをキミは、全部他の人に言えるだろうか。自分ではいつでも書き出せるだろうか。無理である。キミの心は、同時に複数のことを感じることができないので、**A・B・C**の間を行ったり来たりしているのだ。キミの心は、他の人にはなかなか分からないし、何よりキミ自身にも分からないものなのだ。仮に全部言えるとしても、今度は苦しくてきつと泣き出してしまおう。

●ともあれ、キミ達は進まなければならない。そのために、先の表を使って、心の整理をしよう。まず、**A**は、事実か想像か? 全部想像である。やってみないと分からないことである。こんなことを心配して、今までいいことがあったかい? 一回もなかったはずだ。当然! 「合格したい」という自分の願望を裏切っているからだ。キミのこの1年間は、**A**を想像して自分の願望を裏切るためにあつたのか? よく考えろ。結論! **A**を思うことは自然である。自然だから消そうと



しなくてもよいし、また消すのは無理。思ってしまったら、「また来た。仕方ない。とにかく今、やれることを精一杯やろう。」と言いつけろ。

●次は**B**グループ。**A**グループに心を奪われているので**B**になる。自信は待っていても出ない集中できないのはやらないから。焦りはやらないから生まれる。やらないから自分に価値がないと思う。やらないから不安が大きくなる。やらないから腹の調子も悪くなる。みんな、順番が逆なんだ。結論! **B**を思うのは自然である。まず**A・B**を感じたら、持ったまま「また来た。仕方ない。とにかく今、やれることを精一杯やろう。」と言いつけろ!

●**C**グループ。これはあきらめろ。終わったことだし、勉強が好きな奴なんかない。あきらめろ。  
●さあ、もう一度**A・B・C**を見よう。再度言うが、思うのはよい。大事なのはキミがどうするかだ。**A・B・C**に心を向けて時間を過ごすのか、持ったまま、自分の夢に向けて精一杯やることをやるのか。自分で決める。  
●最後に、ある大学受験生の話をしよう。彼女は、三校連続で、自分の名前しか書けなかった。そして、第一志望の入試の前夜泣きながら飛び込んできた。ティッシュを渡して泣くだけ泣かせた。そして一時間かけて気持ちの整理をさせた。弱虫だった。三校連続、白紙で答案を出すなんてありえない。そして、第一志望の立教大学。無事合格。彼女は勇気を出した。弱い自分を持ったまま道を拓いたのだ。キミにもできる!



(小林)